

令和 8 年 7 月 24 日

市政記者各位

福岡市美術館

企画展×福岡現代作家ファイル 2026
「山内光枝展 潮ノ記」開催

福岡市美術館では、9 月 8 日（火）より企画展×福岡現代作家ファイル 2026「山内光枝展 潮ノ記」を開催いたします。展覧会に関連したイベントも開催します。

つきましては、広報にご協力いただきたく、よろしくお願いいたします。

企画展

企画展×福岡現代作家ファイル 2026
山内光枝展 潮ノ記

山内光枝（1982-）は、福岡を拠点に、海に生きる人々の生活や文化に焦点を当てた作品を制作しています。2010 年頃、素の身体で海辺に立つ海女の写真と出会い、そのしなやかな生命力に満ちた姿に強く惹かれたことを契機に、流動的な大自然である海を生活の場とする人々からインスピレーションを得た作品を数多く発表してきました。



山内光枝《つれ潮》2018 年

今回の個展では、《つれ潮》や《潮汐》などの映像作品のほか、山内自ら海に潜って目にした風景を各地の塩と海水で描いた《潮ドローイング》、潮の流れとともに生きてきた人々との五体を通した営みの継承を写真とドローイングで表現した作品なども展示します。また、これまでの実践と未来の展開をつなぐ新たなプロジェクトの出発点となる作品も、本展で初公開します。

山内は、海とともに生きてきた人々の世界観をより深く理解するため、素潜りや水中での撮影技術を習得し、自らその営みの中へと身を置きながら関係を築き、作品制作を続けてきました。本展は、そうした実践を通して山内が探求してきた、人間と世界の流動的な在り方を、彼女の作品を介して現代に生きる人々と共有することを目指す展覧会です。

会 期	令和 8 年 9 月 8 日（火）～ 12 月 20 日（日）
会 場	2 階 近現代美術室 B
開館時間	午前 9 時 30 分～午後 5 時 30 分 ※9 月～10 月の金・土曜日は午後 8 時まで ※入館は閉館の 30 分前まで
休 館 日	毎週月曜日 ※月曜日が祝日・振替休日の場合はその後の最初の平日 9 月 21 日（月・祝）～9 月 23 日（水・祝）、10 月 5 日（月）、10 月 12 日（月・祝）、10 月 19 日（月）、11 月 23 日（月・祝）は開館し、9 月 24 日（木）、10 月 6 日（火）、10 月 13 日（火）、10 月 20 日（火）、10 月 21 日（水）、11 月 24 日（火）は休館
観 覧 料	一般 200 円、高大生 150 円、中学生以下無料

関連イベント

「作家と海女さんとのトーク」

作品への出演や、自身の生き方・イメージが作品の中で用いられることについて、出演当時と現在、出演者がそれぞれどのような思いを抱いているのか。また、現在に至るまで、海での暮らしや生業、そして取り巻く環境がどのように変化してきたのか。

作家がモデレーターを務め、飾らない率直な言葉を交わしながら、海と表現活動、それぞれの現場から生まれる声に耳を傾けるトークの場をひらきます。

日 時	令和8年 10月12日 （月・祝） 午後2時～4時 ※開場 午後1時30分
会 場	1階 レクチャールーム
定 員	54名（聴講無料、先着順）
講 師	ゲスト：早瀬千春氏（輪島の海女、『潮汐』出演）、 松尾美智代氏（宗像の海女、『つれ潮』『潮汐』出演） モデレーター：山内光枝氏

つきなみ講座 10月 「山内光枝展 見どころ紹介」

担当学芸員が本展の見どころを紹介します。

日 時	令和8年 10月24日 （土） 午後3時～4時 ※開場 午後2時30分
会 場	1階 レクチャールーム
定 員	54名（聴講無料、先着順）
講 師	花田珠可子（当館学芸員）

【問い合わせ先】

経済観光文化局 美術館学芸課（担当：花田）

TEL:092-714-6051

潮ノ記

Special Exhibition x Fukuoka Contemporary Artists File 2026

Yamauchi Terue
The Shore of Living and Dying

企画展 x 福岡現代作家ファイル 2026

山内光枝展 潮ノ記

Special Exhibition x Fukuoka Contemporary Artists File 2026

Yamauchi Terue
The Shore of Living and Dying

2026年

9月8日[火] - 12月20日[日]

福岡市美術館 2階 近現代美術室B

開館時間 9時30分 - 17時30分 (9月、10月の金・土曜日は9時30分 - 20時) ※入館は閉館の30分前まで。
休館日 月曜日 (祝日・振替休日の場合は開館)、翌平日休館。10月5日[月]は開館し、翌6日[火]は休館。
臨時休館は、福岡市美術館HPにてご案内。
主催 福岡市美術館

Sep. 8 (Tue) - Dec. 20 (Sun), 2026

Fukuoka Art Museum

Modern and Contemporary Art Gallery B, 2nd Floor

Opening Hours: 9:30 a.m. - 5:30 p.m. (Last admission at 5:00 p.m.)

Fri. and Sat. from Sep. to Oct. 9:30 a.m. - 8:00 p.m. (Last admission at 7:30 p.m.)

Closed: Mondays (or the following weekday if Monday falls on a national holiday).

Closed days are subject to change. Please visit the museum's website for the latest information.

Organizer: Fukuoka Art Museum

福岡市美術館
FUKUOKA
ART
MUSEUM

FaN
Fukuoka Art Next

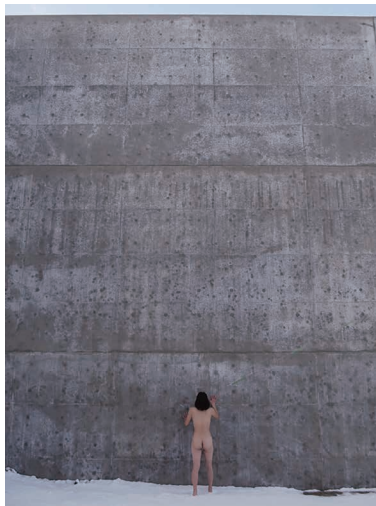
《潮ドローイング》2014年
撮影:山中慎太郎(Qsyum!)

潮ノ記

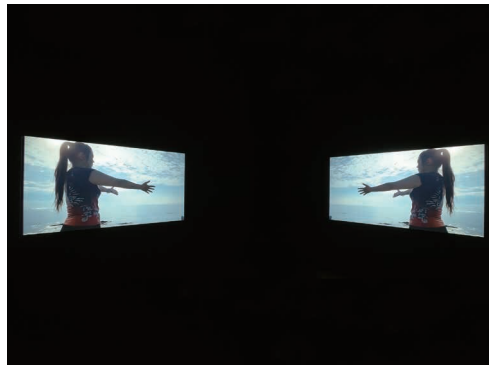
企画展×福岡現代作家ファイル2026



《つれ潮 | Crossing Tides》2018年 | 福岡市美術館蔵



《seawall / Iwate・Kadonohama #1》2016年 | 作家蔵



《潮汐 | Tides》2012-2021年 | 福岡市美術館蔵 撮影:山内光枝



《泡ひとつよりまれきし | Each Breath a Bubble》2024-2026年 | 作家蔵

やまうちてるえ
山内光枝(1982-)は、福岡を拠点に、海に生きる人々の生活や文化に焦点を当てた作品を制作しています。2010年頃、素の身体で海辺に立つ海女の写真と出会い、そのしなやかな生命力に満ちた姿に強く惹かれたことを契機に、流動的な大自然である海を生活の場とする人々からインスピレーションを得た作品を数多く発表してきました。その表現は、ドローイングや映像、インスタレーションなど多岐にわたります。

今回の個展では、《つれ潮》や《潮汐》などの映像作品のほか、山内自ら海に潜って目にした風景を各地の塩と海水で描いた《潮ドローイング》、潮の流れとともに生きてきた人々との五体を通した営みの継承を写真とドローイングで表現した作品なども展示します。また、これまでの実践と未来の展開をつなぐ新たなプロジェクトの出発点となる作品も、本展で初公開します。

山内は、海とともに生きてきた人々の世界観をより深く理解するため、素潜りや水中での撮影技術を習得し、自らその営みの中へと身を置きながら関係を築き、作品制作を続けてきました。本展は、そうした実践を通して山内が探求してきた、人間と世界の流動的な在り方を、彼女の作品を介して現代に生きる人々と共有することを目指す展覧会です。

〔関連事業〕

作家と海女さんとのトーク

作品への出演や、自身の生き方・イメージが作品の中で用いられることについて、出演当時と現在、出演者がそれぞれどのような思いを抱いているのか。また、現在に至るまで、海での暮らしや生業、そして取り巻く環境がどのように変化してきたのか。作家がモデレーターを務め、飾らない率直な言葉を交わしながら、海と表現活動、それぞれの現場から生まれる声に耳を傾けるトークの場をひらきます。

ゲスト:早瀬千春氏(輪島の海女、『潮汐』出演)、
松尾美智代氏(宗像の海女、『つれ潮』『潮汐』出演)

モデレーター:山内光枝氏

日時:10月12日[月・祝] 14:00-16:00

会場:1階 レクチャールーム

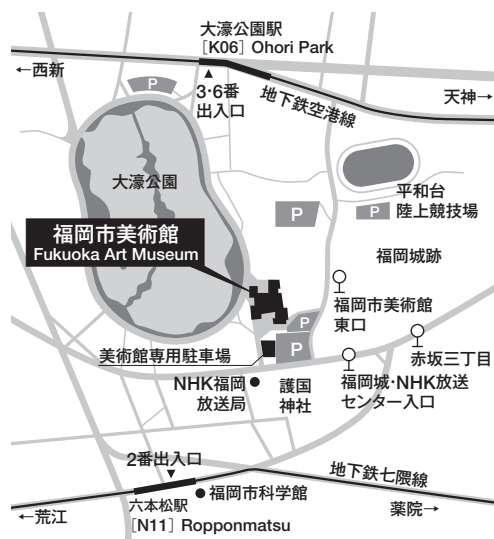
つきなみ講座「山内光枝展 見どころ紹介」

講師:花田珠可子(当館学芸員)

日時:10月24日[土] 15:00-16:00

会場:1階 レクチャールーム

※いずれも聴講無料



〔アクセス〕

○地下鉄:空港線「大濠公園」福岡市美術館口、駅3,6番出口から徒歩10分。
七隈線「六本松駅」2番出口下車、徒歩10分。○西鉄バス:「福岡市美術館東口」下車、徒歩3分。「赤坂三丁目」下車、徒歩5分。「福岡城・NHK放送センター入口」下車、徒歩3分。○車:福岡空港から30分、博多駅から20分、天神から10分。
※福岡市美術館専用駐車場(有料:200円/1時間)※週末、祝日等は大変込み合います。公共の交通機関をご利用ください。



企画展×福岡現代作家ファイル2026
山内光枝展 潮ノ記
2026年9月8日(火)～12月20日(日)
福岡市美術館
広報用作品画像データ申込書

福岡市美術館 広報・運営グループ
(福岡アートミュージアムパートナーズ(株))
委託:西日本新聞イベントサービス)

TEL: 092-714-6051(代表) FAX: 092-714-6071

E-mail :press@fukuoka-art-museum.jp

〒810-0051 福岡市中央区大濠公園1-6

広報用に作品画像データをご用意しております。ご希望の際は、以下にご記入の上、FAXもしくはE-mailでお申込みください。

・下記リストからご希望の作品にチェックをつけてください(作品イメージに関しては裏面をご参照ください)。

・本展広報目的での使用に限ります。使用可能期間は本展会期終了までとなります。

・展覧会名、会期・会場名のほか、画像の使用時には、指定するキャプション・クレジットを必ずご掲載ください。

複数点掲載の場合、重複する情報は省略可能な場合がございます。掲載前に広報事務局宛に校正紙をお送りください。

・作品画像は良識の範囲内でトリミングいただけます。ただし必ず校正紙の確認を行い、許可を得たものをご掲載ください。

・ご使用後はデータを廃棄するとともに、掲載誌、または同録DVDを当館宛に1部ご送付ください。

希望	作品NO	画像キャプション・クレジット
☐	1	《潮ドローイング》2014年 塩+海水(宗像、対馬、沖ノ島、釜山、済州島)、ケント紙 山内光枝所蔵 撮影:山中慎太郎 (Qsyum!)
☐	2	《つれ潮》2018年 映像、サウンド 福岡市美術館蔵
☐	3	《潮汐》2012-2021年 映像、サウンド 福岡市美術館蔵 撮影:山内光枝
☐	4	《泡ひとつよりうまれきし》2024-2026年 映像、サウンド 山内光枝所蔵
☐	5	《seawall/Iwate・Kadonohama #1》2016年 インクジェットプリント/ファインアート紙・アルミ板 山内光枝所蔵
☐	6	チラシ表面 ※クレジット不要
☐	7	
☐	8	
☐	9	

ご住所	〒		
貴社名		ご所属	
ご担当者名			
TEL/FAX	TEL	FAX	
E-mail			
貴媒体名	(発行部数部)		
掲載号／発売予定日	月号／月日号 (月日発売)		
素材締切日 最終校了日	素材締切日 (月日) ／ 最終校了日 (月日)		

企画展×福岡現代作家ファイル2026
山内光枝展 潮ノ記
2026年9月8日(火)～12月20日(日)福岡市美術館
広報用作品画像データ申込書

福岡市美術館 広報・運営グループ
(福岡アートミュージアムパートナーズ(株))
委託:西日本新聞イベントサービス)

TEL: 092-714-6051(代表) FAX: 092-714-6071

E-mail : press@fukuoka-art-museum.jp

〒810-0051 福岡市中央区大濠公園1-6

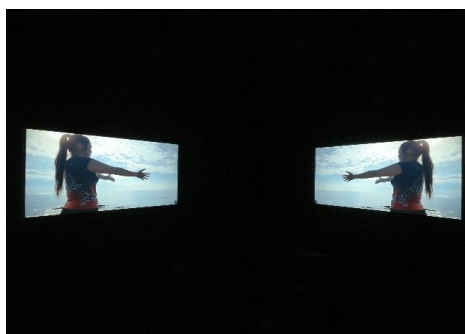
①《潮ドローイング》2014年 塩+海水(宗像、対馬、沖ノ島、釜山、済州島)、ケント紙 山内光枝所蔵 撮影:山中慎太郎(Qsyum!)



②《つれ潮》2018年 映像、サウンド 福岡市美術館蔵



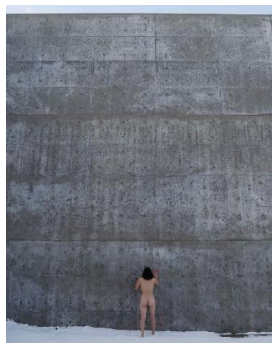
③《潮汐》2012-2021年 映像、サウンド 福岡市美術館蔵 撮影:山内光枝



④《泡ひとつよりうまれきし》2024-2026年 映像、サウンド 山内光枝所蔵



⑤《seawall/Iwate・Kadonohama #1》2016年
インクジェットプリント/ファインアート紙・アルミ板 山内光枝所蔵



⑥チラシ表面 ※クレジット不要

